

輸出事業計画

※申請者名：久保田製菓（有）、品目：大福餅

1. 輸出における現状と課題

【現状】

弊社は長野県飯田下伊那の地場産業である半生菓子の大福餅を生産するメーカーです。当社のモットーは「地場産業である半生菓子の大福餅を世界へ」です。当社は34年前より台湾・香港に輸出を始めました。台湾や香港では大福は正月（旧正月）に食べるもので1年中食べる習慣がありませんでしたが、1年中柔らかい大福を食べられるという点において、大好評を得ることができ、一気に需要が高まりました。今ではアメリカ・オーストラリア・カナダ・香港を主に海外輸出しています。

【課題】

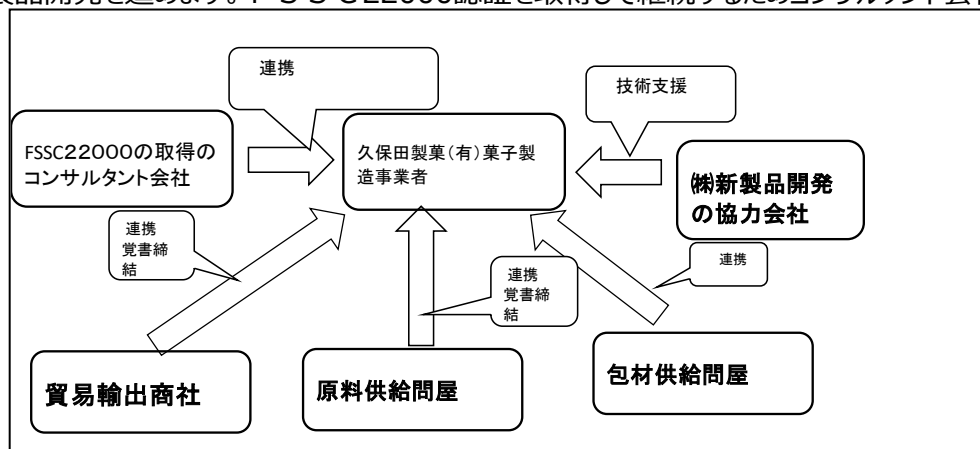
- ・海外の輸出の増大に高まり需要が増え、昨年対比1.5倍受注があり納期がかなり遅れています。
- ・需要の拡大及び人手不足が深刻化しており、生産が追いつかない状況です。
- ・大福餅の輸出に際して、オーストラリアとアメリカのバイヤーから国際認証の取得を求められています。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・生産を拡大するため、包餡成型機を令和4年3月に21,470千円と令和4年9月頃にプッシャー式配列機（3連式・ストッカー付）16,000千円投資して増産。
- ・深刻な人手不足対策として、従業員の募集を実施。特に外国人を採用して人員増員。
- ・オーストラリア、アメリカの取引先が求めるFSSC22000認証の取得に向けてコンサルタントのアドバイスを受けながら、包餡機ラインの工程の配列作業にFSSC22000認証に対応した新機械を導入。令和5年1月にはFSSC22000の認証を取得予定。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

弊社は、輸出国の情報、新製品開発、ニーズの情報を貿易商社から得ています。その情報を元に新製品開発の協力会社から技術支援して頂き開発を進めます。それに伴い原料供給会社、包材会社と連携して現地のニーズ合った新製品開発を進めます。FSSC22000認証を取得して継続するためコンサルタント会社の契約しています。



4. 輸出目標額

	現状 (令和3年9月期)	目標年 (令和9年9月期)
輸出額(円)	210,400,000	262,645,000
輸出量 (t)	292	364
輸出先国	アメリカ・オーストラリア、 カナダ、香港等	アメリカ・オーストラリア、 カナダ、香港等